

## 町長4期目出馬の決意を



斉藤 嘉和



町長

### 4期目の選挙に挑戦し 玉村町のすばらしさを磨いていく

**質問**

町長は、去る6月の定例会で、4期目も引き続き町政を担う意欲を表明した。町長の4期目に向けた明快な考えを聞きたい。

**答弁**

町長 近年、高崎・玉村スマートインターチェンジの開通、東毛広域幹線道路の開通で、玉村町は利便性のよいすばらしい地域となった。このすばらしい状況を絶好の機会と捉え、この好機を逃すことなく前進させなければならぬ。また、生かすことが私の責務と考える。

4期目の選挙に挑戦し、玉村町のすばらしさをさらに磨いていく覚悟である。

**質問**

「子どもを育てるなら玉村町」を標榜するが、最近では多くの自治体で子どもたちへの手厚い政策が打ち出されている。より一層の取り組みが必要と思うが。

**答弁**

町長 働く若者の子育てに対する住環境の整備を進め、ステータスを上げていきたい。

**質問**

玉村町では特産の麦づくりが盛んだ。5月には麦が成長し、早生のビール大麦は出穂し、黄色く熟してくる。小麦も6月の収穫に向けて徐々に熟してくる。その麦秋の風景を売り込むことが農業委員会から提案されている。町ではどう対応していくか。

**答弁**

町長 農地保全、麦の作付奨励、後継者育成の観点から、農業委員会として「麦秋の郷」を発信していくことになった。収穫時期には、町内の至るところで黄金色の麦秋の風景が見られる。農業委員会ではホームページ等で発信していく。町でも農業振興、観光などの観点からパンフレット等に「麦秋の郷」を掲載し、町内外の人に浸透を図りたい。

**質問**

地方創生事業で購入した電動バスで、麦秋の風景の中を運行することについてはどう考えているか。

**答弁**

経済産業課長 運行コースや運行時期などは今後検討したい。

#### 【その他の質問】

○無人ヘリコプターの農業防除について

